

令和3年度 会計報告書

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

一般財団法人 東京都立新宿高等学校 朝陽会

1. 財務諸表

1-1. 貸借対照表総括表

令和3年度 貸借対照表総括表

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,176,300	5,176,300	0
その他流動資産	0	0	0
流動資産合計	5,176,300	5,176,300	0
2. 固定資産			
(1)基本財産			
土地	56,430,464	56,430,464	0
建物	33,648,684	37,670,209	△ 4,021,525
建設仮勘定	38,886,750	0	38,886,750
基本財産合計	128,965,898	94,100,673	34,865,225
(2)特定資産			
館山寮再建等引当資産	98,465,903	98,465,903	0
特定資産合計	98,465,903	98,465,903	0
固定資産合計	227,431,801	192,566,576	34,865,225
資産合計	232,608,101	197,742,876	34,865,225
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	3,615,000	3,740,000	△ 125,000
未払金	2,374,179	2,281,361	92,818
流動負債合計	5,989,179	6,021,361	△ 32,182
負債合計	5,989,179	6,021,361	△ 32,182
III 正味財産			
1. 一般正味財産	199,226,839	164,329,432	34,897,407
(うち基本財産への充当額)	(128,965,898)	(94,100,673)	(34,865,225)
(うち特定資産への充当額)	(71,073,820)	(71,073,820)	(△14,420,474)
2. 指定正味財産	27,392,083	27,392,083	0
(うち特定資産への充当額)	(27,392,083)	(27,392,083)	0
正味財産合計	226,618,922	191,721,515	34,897,407
負債および正味財産合計	232,608,101	197,742,876	34,865,225

1-2. 貸借対照表内訳表

令和3年度 貸借対照表内訳表

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科目	実施事業(継続事業)	法人会計	合計
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,176,300	0	5,176,300
その他流動資産	0	0	0
流動資産合計	5,176,300	0	5,176,300
2. 固定資産			
(1)基本財産			
土地	56,430,464	0	56,430,464
建物	33,648,684	0	33,648,684
建設仮勘定	38,886,750	0	38,886,750
基本財産合計	128,965,898	0	128,965,898
(2)特定資産			
館山寮再建等引当資産	98,465,903	0	98,465,903
特定資産合計	98,465,903	0	98,465,903
固定資産合計	227,431,801	0	227,431,801
資産合計	232,608,101	0	232,608,101
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	3,740,000	0	3,740,000
未払金	2,281,361	0	2,281,361
流動負債合計	6,021,361	0	6,021,361
負債合計	6,021,361	0	6,021,361
III 正味財産			
1. 一般正味財産	168,430,119	△ 4,100,687	164,329,432
(うち基本財産への充当額)	(128,965,898)	(0)	(128,965,898)
(うち特定財産への充当額)	(71,073,820)	(0)	(71,073,820)
2. 指定正味財産	27,392,083	0	27,392,083
(うち特定財産への充当額)	(27,392,083)	(0)	(27,392,083)
正味財産合計	195,822,202	△ 4,100,687	191,721,515
負債および正味財産合計	201,843,563	△ 4,100,687	197,742,876

1-3. 財務諸表に関する注記

令和3年度 財務諸表に関する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

定額法

(2) 消費税等の会計処理

税込処理によっている

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次の通りである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	56,430,464	0	0	56,430,464
建物等	37,670,209	0	4,021,525	33,648,684
建設仮勘定	0	38,886,750	0	38,886,750
小計	94,100,673	38,886,750	4,021,525	128,965,898
特定資産				
館山寮再建等引当資産	98,465,903	2021年の募金	38,886,750	#VALUE!
小計	98,465,903	2021年の募金	38,886,750	#VALUE!
合計	192,566,576	#VALUE!	42,908,275	#VALUE!

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次の通りである

(単位:円)

科目	当期末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に対応する額
基本財産				
土地	56,430,464	0	(56,430,464)	
建物等	47,104,206	0	(37,670,209)	
建設仮勘定	38,886,750	0	0	
小計	142,421,420	0	(94,100,673)	
特定資産				
館山寮再建等引当資産	98,465,903	(27,392,083)	(71,073,820)	
合計	240,887,323	(27,392,083)	(165,174,493)	

4. 固定資産の取得価格、減価償却費、及び当期末残高(直接法により減価償却を行っている場合)

固定資産の取得価格、減価償却費、及び当期末残高は、次の通りである

(単位:円)

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物等			
館山寮本体	52,202,300	52,202,300	0
館山寮本体改修	10,654,000	473,511	10,180,489
館山寮女子棟	8,500,000	5,666,660	2,833,340
館山寮付属設備	3,409,560	1,457,940	1,951,620
館山寮厨房等	24,596,600	8,533,333	16,063,267
館山寮船倉等	2,475,940	618,983	1,856,957
館山寮物置等	1,230,930	574,394	656,536
館山寮受水槽	4,320,000	192,000	4,128,000
合計	107,389,330	69,719,121	37,670,209

1-4. 正味財産増減計算書総括表

令和3年度 正味財産増減計算書総括表

自：令和3年4月1日

至：令和4年3月31日

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
(基本財産運用益)	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0
(受取会費)	4,035,000	4,035,000	0
賛助会員受取会費	4,035,000	4,035,000	0
(事業収益)	1,804,526	1,804,526	0
館山寮運営事業収益	0	0	0
寄付金収益	1,804,526	1,804,526	0
(雑収益)	4,612	4,612	0
受取利息	112	112	0
雑収益	4,500	4,500	0
経常収益合計	5,844,138	5,844,138	0
(2) 経常費用			
(事業費)	7,426,485	7,426,485	0
給料手当	500,000	500,000	0
旅費交通費	54,696	54,696	0
通信運搬費	1,200	1,200	0
減価償却費	5,540,003	5,540,003	0
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	0	0	0
修繕費	132,000	132,000	0
燃料費	0	0	0
光熱水料費	387,976	387,976	0
賃借料	0	0	0
保険料	306,050	306,050	0
支払負担金	68,000	68,000	0
支払助成金	139,900	139,900	0
委託費	296,660	296,660	0
支払手数料	0	0	0
(管理費)	522,308	522,308	0
事務委託費	360,000	360,000	0
会議費	69,531	69,531	0
通信運搬費	32,481	32,481	0
消耗品費	0	0	0
租税公課	5,500	5,500	0
雑支出	54,796	54,796	0
経常費用合計	7,948,793	7,948,793	0
当期経常増減額	△ 2,104,655	△ 2,104,655	0

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
保険金収入	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
災害損失	5,571,000	5,571,000	0
経常外費用計	5,571,000	5,571,000	0
当期経常外増減額	△ 5,571,000	△ 5,571,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 7,675,655	△ 7,675,655	0
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
一般正味財産増減額	△ 7,745,655	△ 7,745,655	0
一般正味財産期首残高	164,329,432	172,075,087	△ 7,745,655
一般正味財産期末残高	156,583,777	164,329,432	△ 7,745,655
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	27,392,083	27,392,083	0
当期指定正味財産増減額	25,587,557	25,587,557	0
指定正味財産期首残高	27,392,083	1,804,526	25,587,557
指定正味財産期末残高	52,979,640	27,392,083	25,587,557
III 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	209,563,417	191,721,515	17,841,902

1-5. 正味財産増減計算書内訳表

令和3年度 正味財産増減計算書内訳表

自:令和3年4月1日

至:令和4年3月31日

(単位:円)

科目	実施事業(継続事業)			実施事業 (継続事業) 合計	法人会計 (共通)	合計
	継続:1 教育活動	継続:2 館山寮運営	継続:3 水上寮保管			
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
(基本財産運用益)	0	0	0	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0
(受取会費)	0	4,035,000	0	4,035,000	0	4,035,000
賛助会員受取会費	0	4,035,000	0	4,035,000	0	4,035,000
(事業収益)	0	1,804,526	0	1,804,526	0	1,804,526
館山寮運営事業収益	0	0	0	0	0	0
寄付金収益	0	1,804,526	0	1,804,526	0	1,804,526
(雑収益)	0	4,612	0	4,612	0	4,612
受取利息	0	112	0	112	0	112
雑収益	0	4,500	0	4,500	0	4,500
経常収益合計	0	5,844,138	0	5,844,138	0	5,844,138
(2) 経常費用						
(事業費)	50,000	7,376,485	0	7,426,485	0	7,426,485
給料手当	0	500,000	0	500,000	0	500,000
旅費交通費	0	54,696	0	54,696	0	54,696
通信運搬費	0	1,200	0	1,200	0	1,200
減価償却費	0	5,540,003	0	5,540,003	0	5,540,003
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	0	0
修繕費	0	132,000	0	132,000	0	132,000
燃料費	0	0	0	0	0	0
光熱水料費	0	387,976	0	387,976	0	387,976
賃借料	0	0	0	0	0	0
保険料	0	306,050	0	306,050	0	306,050
支払負担金	0	68,000	0	68,000	0	68,000
支払助成金	50,000	89,900	0	139,900	0	139,900
委託費	0	296,660	0	296,660	0	296,660
支払手数料	0	0	0	0	0	0
(管理費)	0	0	0	0	522,308	522,308
事務委託費	0	0	0	0	360,000	360,000
会議費	0	0	0	0	69,531	69,531
通信運搬費	0	0	0	0	32,481	32,481
消耗品費	0	0	0	0	0	0
租税公課	0	0	0	0	5,500	5,500
雑支出	0	0	0	0	54,796	54,796
経常費用計	50,000	7,376,485	0	7,426,485	522,308	7,948,793
当期経常増減額	△ 50,000	△ 1,532,347	0	△ 1,582,347	△ 522,308	△ 2,104,655

(単位:円)

科目	実施事業(継続事業)			実施事業 (継続事業) 合計	法人会計 (共通)	合計
	継続:1 教育活動	継続:2 館山寮運営	継続:3 水上寮保管			
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
保険金収入						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
災害損失	0	5,571,000	0	5,571,000	0	5,571,000
経常外費用計	0	5,571,000	0	5,571,000	0	5,571,000
当期経常外増減額	0	△ 5,571,000	0	△ 5,571,000	0	△ 5,571,000
他勘定振替額	50,000	△ 50,000	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	△ 7,153,347	0	△ 7,153,347	△ 522,308	△ 7,675,655
法人税、住民税、事業税	0	0	0	0	70,000	70,000
一般正味財産増減額	0	△ 7,153,347	0	△ 7,153,347	△ 592,308	△ 7,745,655
一般正味財産期首残高	0	171,338,647	4,244,819	175,583,466	△ 3,508,379	172,075,087
一般正味財産期末残高	0	164,185,300	4,244,819	168,430,119	△ 4,100,687	164,329,432
II 指定正味財産増減の部						
受取寄付金	0	27,392,083	0	27,392,083	0	27,392,083
当期指定正味財産増減額	0	25,587,557	0	25,587,557	0	25,587,557
指定正味財産期首残高	0	1,804,526	0	1,804,526	0	1,804,526
指定正味財産期末残高	0	27,392,083	0	27,392,083	0	27,392,083
III 正味財産期末残高						
正味財産期末残高	0	191,577,383	4,244,819	195,822,202	△ 4,100,687	191,721,515

2-2 財務諸表の附属明細書

令和3年度 財務諸表の附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細
 - － 財務諸表に対する注記に記載しているので省略。

2. 引当金の明細
 - － 該当なし。

2. 事業報告

2.1 令和3年度事業報告

1. 事業の現況に関する事項

1.1 館山寮の再建計画の進捗状況

令和2年度に再編された館山寮再建実行委員会は精力的に活動を続け、5月には社会的信用があり実績のある4社に設計委託料の見積もりを依頼し、最低価格を提示したニジアーキテクトゥー級建築士事務所が有利であると判断して同社を設計担当に選任しました。

工期短縮とコスト削減を図るため、設計段階から施工業者が施工受託を前提に参画する方式を採用し、5社見積の中で建築実績、ウッドショックへの対応などを総合的な観点から検討し、地元南房総市の加藤建設を施工業者に選定しました。また、工事監理は、基本設計を担当したニジアーキテクトゥー級建築士事務所に委嘱しました。

工事費総額は、11,107万円を予定しています。

1.2 臨海教室

既存女子棟とトレーラーハウスを数台借り入れて臨海教室開催の可能性を検討しましたが、新型コロナウイルス感染拡大が収まらない状況では、リスクが大きいと判断され、実施は見送られました。

1.3 再建募金の状況

令和3年度の再建募金は凡そ7百万円で、累積で34百万円となりました。

2. 対処すべき今後の課題

2.1 館山寮の再建

男子棟、教員室、女子棟、浄化槽は、6月末に完成する計画で、完成検査を受けて7月上旬に引渡しされる予定です。

工事代金見積もりは手持資金に対して800万円ほど超過しているので、経費の削減と更なる再建募金により賄うことにしていますが、それでも不足する場合は100周年募金より充当することを考えています。

2.2 臨海教室

伝統ある臨海教室を何としても継続したいということで、新型コロナ感染症の今後の推移を見据えて、規模を縮小して一泊二日で一クラスずつ実施することを計画しています。

同窓生に対する寮の解放は、管理運営を委託している朝陽水泳会と協議し、利用人員を制限するなどコロナ対策を十分に行い実施する予定です。

2.3 今後の館山寮の維持、管理

将来的には財団の経常収支で、維持管理費を賄えるようにしたいので、再建がなった後に、タスクフォースチームを組成して、継続的に検討を加えて行きたいと考えています。

以上

2-2 事業報告の附属明細書

令和3年度 事業報告の附属明細書

該当なし。

3. 監査報告書

3-1 監事による監査報告書

一般財団法人東京都立新宿高等学校朝陽会

代表理事 橋本 健一 殿

令和4年 5 月 27 日

一般財団法人東京都立新宿高等学校朝陽会

監事 中 越 一 統

一般財団法人東京都立新宿高等学校朝陽会

監事 宮山 尚之

私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日迄の事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について次の通り報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、重要な書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

（1）事業報告等の監査結果

1. 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
2. 理事の職務執行に関する不正の行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

3-2 監事による公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告書

一般財団法人東京都立新宿高等学校朝陽会
代表理事 橋本 健一 殿

令和4年 5 月 27 日

一般財団法人東京都立新宿高等学校朝陽会

監事 中 越 一 統

一般財団法人東京都立新宿高等学校朝陽会

監事 宮山 尚之

私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日迄の事業年度における公益目的支出計画実施報告書を監査いたしました結果、次の通り報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、重要な書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る公益目的支出計画実施報告書について検討致しました。

3. 監査意見

公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、公益目的支出計画の実施状況を正しく示しているものと認めます。